

座席番号			
------	--	--	--

E I M E I オリジナル 北辰テスト 予想問題

第 3 学年 第 3 回

社 会

(40 分間)

満点 100 点

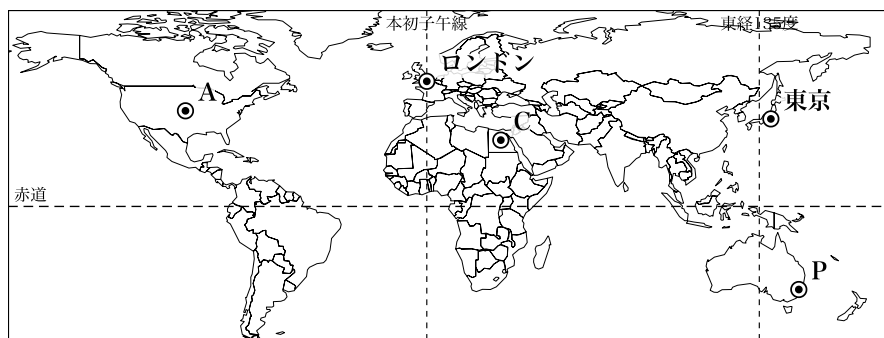
注 意

1. 問題は全部で大問が 5 問あります。
2. 答えはすべて解答用紙のきめられたところに書きなさい。
3. 分度器・計算機を使ってはいけません。
4. 文字はくずさず、濃くはっきりと書きなさい。

1 拓也さんは、世界各地の自然環境や産業、人々の暮らしについて興味を持ち、略地図や統計資料を集めてレポートにまとめました。これらを見て、あとの問1～問6に答えなさい。(20点)

〔略地図〕

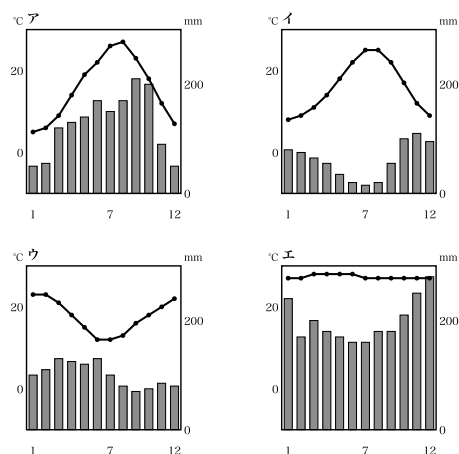
※略地図中のA、Cは国を示し、Pは特定の地点を示しています。点線は主要な経線を示しています。



略地図

問1 拓也さんは、略地図中のロンドン（経度0度）と東京（東経135度）の時差について調べました。ロンドンが1月1日の午前10時のとき、東京は同じ日の何時ですか。午前または午後を明らかにして書きなさい。(3点)

問2 略地図中の地点P（シドニー付近）の雨温図として最も適当なものを、次のア～エから一つ選びなさい。(3点)



雨温図（ア～エ）

ア イ ウ エ

問3 略地図中のC（エジプト付近）や西アジアの国々で広く信仰されている宗教について述べた文として最も適当なものを、次のア～エから一つ選びなさい。（3点）

ア この宗教の信者はモスクと呼ばれる礼拝堂で祈りを捧げ、豚肉を食べることを禁じられている。

イ この宗教はインドで興り、カースト制度と呼ばれる身分制度と深く結びついており、牛を神聖視する。

ウ この宗教は世界で最も信者が多く、聖地であるエルサレムに向けて一日に数回礼拝を行う。

エ この宗教は東アジアに広く普及しており、経典として『コーラン』が用いられる。

問4 表1の①～④は、オーストラリア、サウジアラビア、中国、ブラジルのいずれかの国の主な輸出品目の割合を示したものです。オーストラリアに当てはまるものを、①～④から一つ選びなさい。（4点）

国	第1位	第2位	第3位	その他
①	機械類 (44.0%)	衣類 (5.7%)	繊維品 (4.4%)	45.9%
②	鉄鉱石 (32.7%)	石炭 (13.6%)	天然ガス (10.5%)	43.2%
③	原油 (68.4%)	石油製品 (11.2%)	プラスチック (5.3%)	15.1%
④	大豆 (13.7%)	鉄鉱石 (12.3%)	原油 (9.4%)	64.6%

表1 各国の主な輸出品目の割合（2020年）

① ② ③ ④

問5 資料2は、オーストラリアにおける年間降水量の分布と、羊・牛の飼育地域の関係についてまとめたものです。オーストラリアにおいて、羊の飼育が盛んな地域は、牛の飼育が盛んな地域と比べて、どのような降水量の地域ですか。「降水量」という言葉を使って、簡潔に書きなさい。（4点）

地域	年間降水量	主な農牧業
沿岸部（東部・北部）	1000mm以上（湿潤）	肉牛・乳牛の飼育（企業の畜産）、畑作
沿岸部から内陸への移行地域	250mm以上1000mm未満（半乾燥）	羊の飼育（企業の牧羊）、小麦栽培
広大な内陸部	250mm未満（乾燥）	砂漠や荒地（農牧業に適さない）

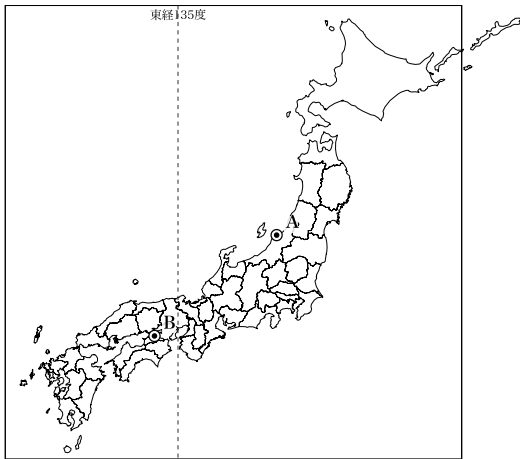
資料2 オーストラリアの農牧業と降水量の関係

問6 略地図中のA（アメリカ合衆国）では、それぞれの地域の気候や土壌などの自然環境に適した農産物を専門的に栽培する農業が行われています。このような農業のやり方を何といいますか、漢字4字で書きなさい。（3点）

2 拓也さんは、日本の地形や気候、産業の特色について調べるため、次の資料1～資料4を作成しました。これらをもとに、あとの問1～問6に答えなさい。（20点）

〔資料1〕
【日本の略地図】
地図中のA、Bはそれぞれ特定の都市の位置を示しています。

〔資料1の地図〕



資料1の地図

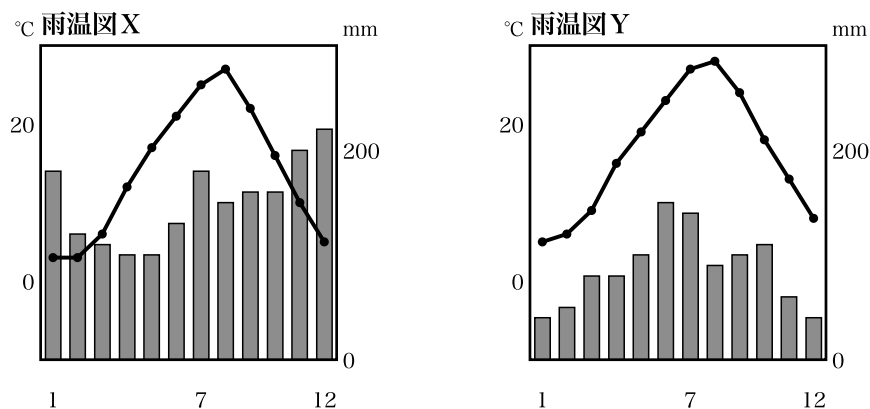
〔資料3〕

果物名	1位	2位	3位
果物P	青森県 (58%)	長野県 (20%)	岩手県 (6%)
果物Q	和歌山県 (21%)	愛媛県 (15%)	静岡県 (13%)
果物R	山梨県 (25%)	長野県 (19%)	山形県 (9%)

〔資料4〕

工業地帯・地域	機械	金属	化学	食料品	その他
あ	66.2%	6.8%	7.5%	4.2%	15.3%
い	41.5%	14.5%	15.2%	8.5%	20.3%
う	35.2%	12.0%	22.5%	6.1%	24.2%

問1 資料1の略地図中の地点Aと地点Bの気候を示す雨温図として最も適切な組み合わせを、次のア～エから一つ選び、その符号を書きなさい。(3点)



資料2：雨温図

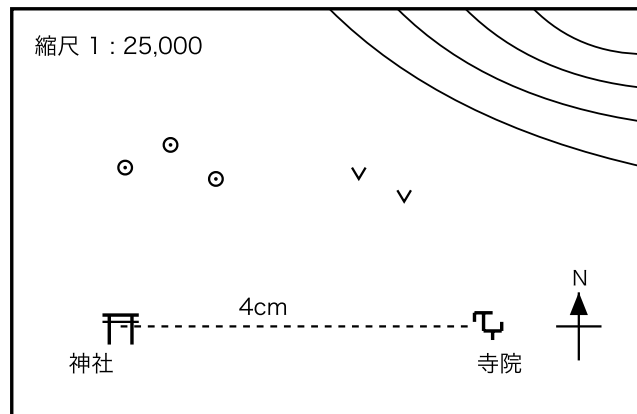
ア：A - 雨温図X、B - 雨温図Y イ：A - 雨温図Y、B - 雨温図X

ウ：A - 雨温図X、B - どちらにも該当しない エ：A - どちらにも該当しない、B - 雨温図Y

問2 資料3の表中の「果物Q」に当てはまる果物の名称を、漢字で書きなさい。(3点)

問3 資料4の表中の「あ」に該当する、日本最大の工業出荷額を誇る工業地帯の名称を書きなさい。(3点)

問4 資料5の地形図（縮尺2万5千分の1）について説明した文として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その符号を書きなさい。また、地形図中の「神社」から「寺院」までの実際の直線距離は何kmか、求めなさい。（4点）



資料5：地形図（縮尺 1 : 25,000）

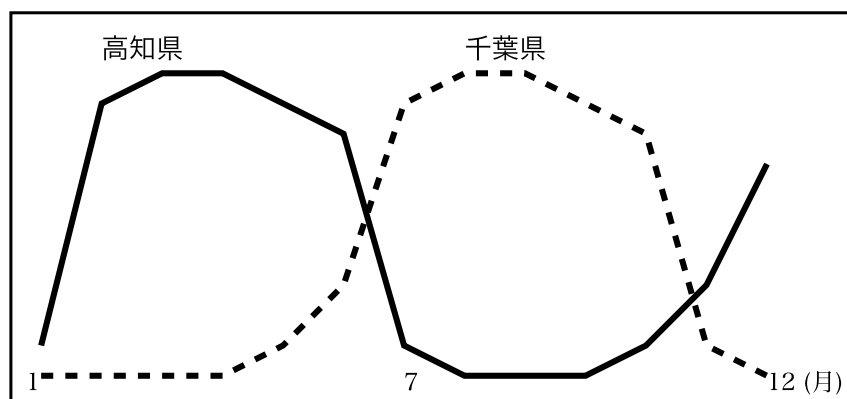
ア：神社の北側には果樹園が広がっている。

イ：地形図の等高線は、主曲線が20mおきに引かれている。

ウ：寺院からみて、神社は北東の方角にある。

エ：等高線の間隔をみると、図の北東部（右上）に比べて南西部（左下）の方が傾斜が急である。

問5 高知県では、冬の温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどを用いて栽培時期を早める（ ① ）栽培が行われています。①にあてはまる語句を書きなさい。また、高知県がこのような栽培方法を行う理由を、資料6を参考に、「出荷時期」と「価格」の2つの言葉を使って簡潔に説明しなさい。（4点）



資料6：高知県と千葉県のピーマンの月別出荷割合

問6 日本の人口や都市の特色について説明した文として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その符号を書きなさい。(3点)

ア：地方中枢都市とは、札幌、仙台、広島、福岡の4都市のことであり、それぞれの地方の政治や経済の中心地となっている。

イ：日本の総人口は、1970年代から一貫して減少を続けており、現在は深刻な少子高齢化に直面している。

ウ：東京、大阪、名古屋の三大都市圏では、郊外から中心部への人口移動が進んだ結果、現在は都心の人口が極端に減少する「ドーナツ化現象」が急速に進行している。

エ：過疎地域では、若者の流出により高齢化が進んでいるが、医療機関や公共交通機関などの生活サービスは維持しやすくなっている。

3 拓也さんは、授業で歴史の学習を進めるなかで、古代から中世にかけての日本の政治や社会の動き、外交について興味を持ち、年表にまとめました。次の年表を見て、あとの問1～問6に答えなさい。(20点)

〔拓也さんが作成した年表〕

時期	年	主な出来事
古代	57年	A: 倭の奴国が後漢に使いを送り、金印を授かる。
	604年	B: 聖徳太子（厩戸王）が冠位十二階や憲法十七条を定める。
	701年	C: 大宝律令が完成し、律令国家の仕組みが整う。
	794年	D: 桓武天皇が平安京に都を移す。
中世	1192年	E: 源頼朝が征夷大將軍に任じられ、鎌倉幕府を開く。
	1274・1281年	F: 元軍が襲来する（元寇）。
	1404年	G: 足利義満が明との間で勘合貿易を本格化させる。

問1 年表中のAの時期（1世紀ごろ）における日本の社会や人々の生活の様子について述べた文として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。(3点)

ア：青銅器や鉄器などの金属器が大陸から伝わり、米づくり（稲作）が本格的に広まっていた。

イ：巨大な前方後円墳が各地に造られ、大和政権による国土の統一が進んでいた。

ウ：仏教が百済から伝わり、豪族の間で仏教を受け入れるかどうかをめぐる争いが起こっていた。

エ：墾田永年私財法が出され、人々が新しく開墾した土地を永久に私有することが認められた。

問2 年表中のCからDの時期（8世紀・奈良時代）に、都を中心に栄えた文化（天平文化）について述べた文として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。（3点）

ア：聖武天皇や光明皇后の発願により、国分寺・国分尼寺が全国に建てられ、東大寺の大仏が造られた。

イ：最澄が比叡山に延暦寺を建てて天台宗を、空海が高野山に金剛峰寺を建てて真言宗を開いた。

ウ：菅原道真の提案により遣唐使が廃止され、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達した。

エ：中臣鎌足らが中大兄皇子とともに蘇我氏を倒し、公地公民を原則とする大化の改新を始めた。

問3 年表中のEからFの時期（鎌倉時代）における、将軍と御家人の結びつきについて説明した次の文章の、(X)、(Y)に当て合まる語句の組み合わせとして最も適切なものを、あとのア～エから一つ選びなさい。【文章】 将軍は御家人に対し、先祖伝来の所領の支配を認めたり、新たな所領を与えたりした。これを(X)という。これに対して御家人は、京都や鎌倉の警備を行ったり、戦いがあった際には命がけで軍役を果たしたりした。これを(Y)という。（3点）

ア：X：御恩、Y：奉公 イ：X：奉公、Y：御恩 ウ：X：守護、Y：地頭

エ：X：地頭、Y：守護

問4 年表中のEからGの時期（鎌倉時代から室町時代）の社会や経済の様子について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

ア 同じ田畑で米と麦を交互に作る二毛作が西日本に広まり、各地で定期市（三斎市など）も開かれるようになった。

イ 口分田が不足したため墾田永年私財法が出され、貴族や寺院による荘園の開発が始まった。

ウ 商工業者が株仲間という同業組合をつくり、幕府や藩から営業の独占を認められて保護を受けた。

エ 全国土地と人民を国家が直接支配する公地公民の原則が定められ、班田収授が行われた。

問5 次のア～エは、古代から中世にかけての文化や社会に関する出来事について述べたものです。これらを経過した年代の古い順に並べ替え、左から順に記号で答えなさい。ア：親鸞が浄土真宗（一向宗）を開き、武士や農民の間に信仰が広まった。イ：足利義政が京都の東山に慈照寺銀閣を建て、書院造などの東山文化が栄えた。ウ：僧の行基が人々を率いて道路や橋を造るなどの社会事業を行い、東大寺の大仏造立にも協力した。エ：紫式部が『源氏物語』を、清少納言が『枕草子』を執筆し、かな文字を使った文学が発達した。（4点）

問6 年表中のF（元寇）の後、幕府に対して不満を強める御家人が増え、これが鎌倉幕府が衰退・滅亡する大きな原因となりました。御家人が幕府に対して不満を抱くようになった理由を、「領地」「恩賞」の2つの語句を使って、簡潔に説明しなさい。（4点）

4 中学3年生のSさんは、江戸時代から大正時代にかけての日本の外交と産業の歩みについて興味を持ち、年表や資料をまとめてレポートを作成しました。次の年表と資料を読んで、あとの問1から問6に答えなさい。（20点）

〔年表〕

時期	西暦年	主な出来事
A	1639年	ポルトガル船の来航を禁止する（「鎖国」の完成）
(あ)	1825年	幕府が異国船打払令（無二念打払令）を出す
B	1853年	ペリーが浦賀（神奈川県）に来航する
C	1894年	日清戦争が始まる
D	1914年	第一次世界大戦が始まる

〔資料1〕

【異国船打払令（一部）】

一、今度、異国船の儀に付、…いづれの浦方（海岸）においても、異国船を見掛け候はば、…一図に（ためらわずに）打払い…
（※現代語訳・一部省略あり）

問1 年表中の時期A（17世紀前半）のころの江戸幕府の対外政策や対外交渉について述べた文として、最も適当なものを次のア～エから一つ選び、その符号を書きなさい。（3点）

ア：長崎の出島において、イギリスやフランスとの間で制限された貿易が行われた。

イ：朝鮮との間では、対馬藩を仲介として国交が回復し、将軍の代替わりごとに朝鮮通信使が来日した。

ウ：琉球王国は、長州藩の支配下に入り、将軍や天皇の代替わりごとに使節を派遣した。

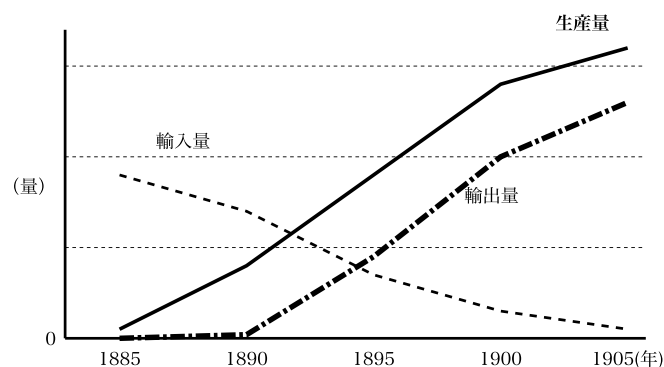
エ：蝦夷地のアイヌ民族に対しては、幕府が直接交易を行い、松前藩の関与を一切禁じた。

問2 資料1の法令が出される背景となった、1804年に長崎に来航して通商を求めたロシアの使節の氏名を書きなさい。(3点)

問3 年表中の時期B（幕末の開国）のあと、日本は本格的に貿易を開始しました。この貿易における、最大の貿易相手国と、最大の輸出品の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その符号を書きなさい。(3点)

- ア：相手国：イギリス ー 輸出品：生糸 イ：相手国：イギリス ー 輸出品：茶
ウ：相手国：アメリカ ー 輸出品：生糸 エ：相手国：アメリカ ー 輸出品：綿織物

問4 次の図は、明治から大正期にかけての日本の綿糸の「生産・輸出・輸入量」の推移を示したものです。1890年代後半に、綿糸の輸出量が輸入量を上回るようになった理由を、「紡績業」「機械」の2つの語句を使って、簡潔に説明しなさい。(4点)



図：日本の綿糸の生産・輸出・輸入量の推移（1885年～1905年）

問5 年表中の時期C（1894年）の前後における、日本の条約改正の動きについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

- ア 1894年、外務大臣の陸奥宗光がイギリスとの間で、領事裁判権（治外法権）の撤廃に成功した。
イ 1894年、外務大臣の小村寿太郎がアメリカとの間で、関税自主権の完全な回復に成功した。
ウ ノルマントン号事件をきっかけに、岩倉具視がただちに欧米と対等な条約を結び直した。
エ 日露戦争の講和条約によって、日本は条約改正のすべてを一度に達成した。

問6 年表中の時期D（1914年）から大正時代末期（1925年）にかけての日本の社会や政治の様子について述べた文として、適当でないものを次のア～エから一つ選び、その符号を書きなさい。（4点）

ア：第一次世界大戦による大戦景気（大戦ブーム）により、日本は債務国から債権国へと変化した。

イ：吉野作造が民本主義を唱え、政党内閣の確立や普通選挙の実施を求める運動が高まった。

ウ：1925年に普通選挙法が制定され、満25歳以上のすべての男女に選挙権が与えられた。

エ：1925年に普通選挙法と同時に治安維持法が制定され、社会主義運動などの取り締まりが強化された。

5 カイさんは、日本の開港と貿易の歴史、および現在の世界との結びつきについて調べ、次のレポートを作成しました。これについて、あとの問1～問6に答えなさい。（20点）

〔表1：明治中期と大正期における日本の主要輸出品の割合の変化〕

輸出品目	1890年（明治23年）	1920年（大正9年）
生糸	37.0%	22.0%
綿織物	0.0%	17.0%
綿糸	0.0%	8.0%
茶	11.0%	0.0%
米	6.0%	0.0%
その他	46.0%	53.0%

問1 次の図1は、日本と世界の一部の国々の位置関係を示した略地図です。図1中のAの国（オーストラリア）について、Aの国の東部（シドニーなど）と日本（東京）との時差、およびAの国を通る南回帰線付近の気候の特徴について述べた文として、最も適当なものをあとのア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

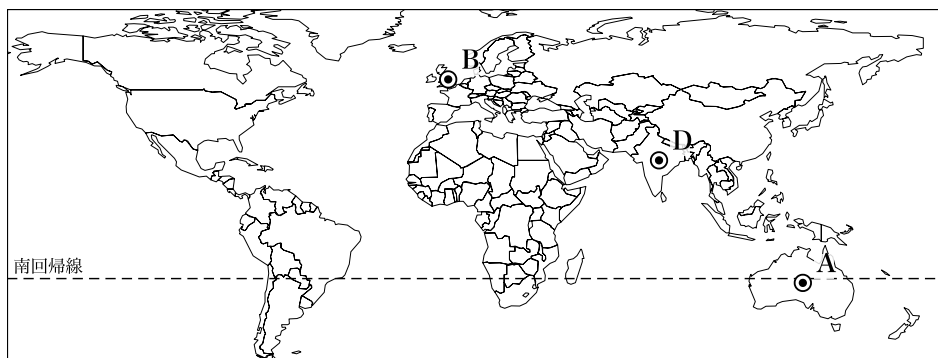


図1：世界略地図

ア：日本との時差は1時間で、日本の方が進んでいる。南回帰線付近は、温暖湿潤気候で一年中雨が多い。

イ：日本との時差は1時間で、Aの国の方が進んでいる。南回帰線付近は、乾燥帯が広がり降水量が非常に少ない。

ウ：日本との時差は8時間で、日本の方が進んでいる。南回帰線付近は、熱帯雨林気候で年中高温多雨である。

エ：日本との時差は8時間で、Aの国の方が進んでいる。南回帰線付近は、温帯の地中海性気候で夏に乾燥する。

問2 1858年に江戸幕府がアメリカと結んだ日米修好通商条約では、5つの港を開港することが定められました。このうち、当時「兵庫」として開港が予定されていましたが、実際にはその近くの漁村が整備されて開港し、その後、日本を代表する国際貿易港へと急速に発展した、現在の兵庫県にある港の名称を書きなさい。（3点）

問3 図1中のDの国（インド）について、この国の自然環境や産業について述べた文として、最も適切なものを次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

ア：国土の南部に広がるデカン高原では、少雨で肥沃な玄武岩の風化土壌を利用して綿花の栽培が盛んであり、古くから繊維産業が発達してきた。

イ：国土の北東部に位置するアッサム地方などでは、年中乾燥した気候を利用して小麦の大規模な商業的農業が行われている。

ウ：近年は、アメリカ合衆国との時差が約12時間あることを生かして、IT（情報技術）産業が発達しており、首都キャンベラがその世界的拠点となっている。

エ：国民の約8割が仏教を信仰しており、牛を神聖な動物として食べない習慣がある。

問4 表1は、明治中期（1890年）と大正期（1920年）の日本の主要輸出品の割合の変化を示しています。この変化と、当時の日本の産業の発達について述べた文として、最も適切なものを次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

ア：1890年頃は、生糸や茶などの農産物・半製品が輸出の多くを占めていたが、日清戦争後に官営の八幡製鉄所が操業を開始すると、1920年には鉄鋼や機械などの重化学工業製品が輸出の過半数を占めるようになった。

イ：明治政府は殖産興業を推進し、富岡製糸場などの官営模範工場を設立した。1890年頃から軽工業が急速に発達し、大正時代には第一次世界大戦による大戦景気もあって、綿織物などの綿製品が重要な輸出品となった。

ウ：1920年には綿糸の輸出割合が低下しているが、これは国内の綿花栽培が急速に拡大し、原料をすべて国内で自給できるようになったため、輸出に回す必要がなくなったからである。

エ：大正時代に第一次世界大戦が始まると、ヨーロッパ諸国からの輸出が途絶えたため、日本はアジア市場への進出を強め、生糸に代わって「茶」の輸出額が急増した。

問5 図1中のBの国（イギリス）は北緯50度以北の高緯度に位置しますが、同じ緯度の他の地域に比べて冬でも比較的温暖な気候です。その理由を、「暖流」と「偏西風」の2つの語句を使って説明しなさい。（4点）

問6 表1において、1890年から1920年にかけて「綿織物」や「綿糸」の輸出割合が増加しています。日本はこれら綿製品の原料となる綿花を主にアメリカやインドから輸入し、国内で加工してアジア各地へ輸出していました。このような、原料を輸入して国内で製品に加工し、それを輸出する貿易の形態の名称を書きなさい。また、1890年代後半における、日本の綿糸の「国内生産量」と「輸入量」の関係の変化について、「国内生産量」「輸入量」の語句を用いて簡潔に説明しなさい。(4点)